

(様式1)

環境配慮検討書

平成16年8月20日

三重県環境調整システム推進会議 部会長 様

東紀州活性化・地域特定プロジェクト
推進監 南川 正隆

三重県環境調整システム推進要綱第4条の規定に基づき提出します。

対象事業の名称	熊野古道センター(仮称)建設工事		
連絡先	担当室又は課所名	地域振興部 東紀州活性化・地域特定プロジェクト	
	担当者職・氏名	尾鷲市駐在 主査 湊 達也	電話番号 0597-23-3408

1 事業の計画の名称、目的及び内容

(1)名称	熊野古道センター（仮称）建設工事	
(2)目的	世界遺産としての熊野古道の魅力を全国に発信し、併せてその保全・活用を図るとともに、東紀州への集客交流のための情報拠点等としての施設として整備を行います。	
(3)事業主体	三重県	
(4)計画内容	計画地の位置 位置図を添付すること	三重県尾鷲市大字向井字村島 34 番地の 4 (旧ホテルサンポート跡地)
	建物・施設等の概要 (用途、規模、面積、配置等) 配置図を添付すること	(1)延床面積：約 2,400㎡程度 (2)構造：木造及びRC造り 情報発信機能：全ての来訪者・利用者をあたたかく迎え、安らぎ・知り・交流でき、古道や東紀州地域を紹介する総合窓口、管理、運営の本部機能 研究・保存機能：世界的な文化遺産としての周知、古道の研究・学習・研修・展示を行い、古道全域の保全と活用を行う機能 交流機能：古道に関する様々な活動団体の研修・会議・交流等の場としての機能、東紀州地域の生活文化等を体験できる機能。 センター敷地内周辺機能：多目的広場、駐車場、休憩スペース、カフェなど
	用水の使用計画	現時点では考慮していません。
	エネルギーの使用計画	現時点では考慮していません。 (積極的に推進したいが予算面で困難)
	雨水、汚水の排水計画	雨水：調整池建設により対応 汚水：浄化槽設置により対応
	道路・交通計画	尾鷲市道 北浦向井線 に接続
	工期	ア)着工の予定時期 イ)完工及び供用開始の予定時期
(5)関連事業計画	尾鷲市道 北浦向井線 拡幅工事（予定）	
(6)その他		

2 計画地の社会的条件の現況等

(1) 計画地の社会的条件の現況	交通の現況	J R大曾根駅より約1.0 Km R 4 2号交差点より約2 km 県道 中井浦九鬼線より約200 m 尾鷲市道 北浦向井線 に隣接
	土地利用の現況	旧ホテルサンポート跡地（現在は閉鎖され利用していない）
	水域利用の現況	河川用水（黒の川）を利用した田畑が周辺に点在している。
	生活関連施設の現況	J R大曾根駅より約1.0 Km 三重交通バス停留所（向井小学校前）より約300 m 簡易郵便局（J A向井支店）より約500 m 向井小学校より約700 m
(2) 関係法令等による地域の指定・規制状況	自然環境保全地域等の指定状況	自然環境保全地域（地区）、自然公園地域（区域）、鳥獣保護区の指定状況
	土地利用規制の現況	都市計画区域（用途指定なし）

3 計画地の自然的条件の現況

(1)地形・地質	文献調査	文献名	東紀州交流拠点施設（紀北）民活化可能調査業務（NKK）	
	現地調査の有無	有（実施日時 H 11.5.29）	聴取調査の有無	有・無
	調査結果等	中生代白亜紀頃形成された四万十層群に属する砂岩、頁岩とこれを貫く熊野酸性岩で構成される。		
(2)水象	文献調査	文献名	公共用水域及び地下水の水質測定結果（三重県）	
	現地調査の有無	有・無（実施日時）	聴取調査の有無	有・無
	調査結果等 河川、湖沼	矢の川・・・PH 6.9～7.3， DO 9.4～13.0mg/l BOD < 0.5～2.1mg/l SS < 1～2mg/l 大腸菌群数 1.1E+02～9.2E+03 MPN/100ml 重金属その他の健康項目については問題のない値である（基準値以下である）		
	海域	-----		
(3)気象・大気質等	調査の方法	2002年 尾鷲測候所 データ		
	調査結果	気温： 平均気温 16.3 最高気温 37.7 降水量： 3880 mm / 年 最多風向： 風速： 平均風速 2.3 m / s 最大瞬間風速 29.4 m / s 大気質： 水質： 騒音： 振動：		
(4)生態系等	文献調査	文献名		
	現地調査の有無	有・無（実施日時）	聴取調査の有無	有・無
	調査結果等 植物	植生の概要： 貴重な植物個体： 貴重な植物群落： ミヤマトベラ、ヤクシマハウビシダ		
	動物	動物相の概要： 猪、猿、鹿（周辺田畑に被害を与えている） 貴重な動物： なし		

(5) 自然景観・文化財等	文献調査	文献名		
	現地調査の有無	(有)(実施日時 H15.7.9) 埋蔵文化財センター	聴取調査の有無	有 ・ 無
	調査結果等 自然景観	自然景観の概要： 貴重な自然景観：		
	文化財、史跡、名勝等	史跡・名勝・天然記念物： なし 埋蔵文化財包蔵地： なし		
	野外レクリエーション 他			
(8) その他、自然災害等				

4-2 事業計画の検討内容（複数案比較が実施できない場合）

複数案比較が実施できない理由	尾鷲市は平地が非常に少なく、大規模な造成を行う以外に計画敷地の確保が困難である。当該計画地はホテル跡地であったため、景観も優れており大規模な造成が不要である。また、現状は荒地となっており、近隣民家の環境も良好ではない。当該計画地を選定することにより周辺環境も良好になり自然破壊も最小限にとどまる等、当該計画地以外の施設計画は考えられない。
----------------	---

環境配慮事項ごとに、環境配慮度を - で記入し、その配慮の内容及び配慮度の評価の理由を記入すること。

環境配慮技術指針の配慮目標 循環を基調とした持続的発展が可能な社会の構築 人と自然が共にある環境の保全 やすらぎと潤いのある快適な環境の創造	環境配慮度 : 十分配慮している。 : 配慮している。 - : 特に配慮する必要がない。
---	---

技術指針に基づく環境配慮事項	環境配慮度	環境配慮の内容 (- の場合は、無記入でも可)	配慮度の評価の理由
-1 地球温暖化防止		自然採光・自然換気を最大限に取り入れた建築計画、機械設備に頼ることを最小限にとどめたい。	省エネルギー対策
-2 廃棄物対策		既設アスファルトを撤去後、再資源化施設へ運搬	リサイクル対策
-3 生活環境の保全		民家近接部については幅5m以上の植栽による緩衝帯を考慮	地域への環境面での配慮
-4 その他重点事項		雨水利用（散水・洗浄水等）や深夜電力利用による水蓄熱式空調を検討	省エネルギー対策
-1 野生生物等の生育空間の確保	-		
-2 希少な野生生物の保護	-		
-3 地形、地質等の改変の抑止		造成に伴う土砂の搬出搬入が発生しないよう土量バランスを考慮	土砂運搬時の敷地外への土砂・濁水の流失が軽減される
-4 その他重点事項			
-1 緑化、周辺景観との調和		敷地全体の植生を考慮している。	現況は土が剥出しの荒地状態であり、大幅な緑化・景観改善が考えられる。
-2 親水等、ふれあい空間づくり		調整池周辺に親水・植樹ゾーンを考慮調整池自体をビオトープゾーンとして検討したい。	周辺自治会及び学校より植樹の希望が多く、ふれあい空間として利用が考えられる。
-3 その他重点事項			
上記以外の特記事項		建築の主要部材を135角の角材を組み合わせて建設	尾鷲檜の植林（生育）状況を調査し森林破壊を起こさないよう、供給可能な角材の調達を考慮

5-2 事業計画案の環境配慮に係る評価

従来事業等と比較して優れている点	
今後の課題	
会議での調整を要する事柄	